

茨 城 労 働 局
栃 木 労 働 局
群 馬 労 働 局
埼 玉 労 働 局
発 表
平成 28 年 11 月 29 日

担 当	茨城労働局労働基準部監督課 課 長 佐川 正孝 電 話 029-224-6214
	栃木労働局労働基準部監督課 課 長 西川 聡子 電 話 028-634-9115
	群馬労働局労働基準部監督課 課 長 永田 卓也 電 話 027-896-4735
	埼玉労働局労働基準部監督課 課 長 子安 成人 電 話 048-600-6204

北関東の4労働局合同で年末建設一斉監督を実施

北関東（茨城・栃木・群馬・埼玉）の建設工事で、本年10月末までに発生した休業4日以上、死傷労働災害は1,047件（前年比6.1%減）、死亡災害は19件（同32.1%減）であり、全体では減少しているものの、茨城及び栃木管内では増加し、依然高い水準となっています。（別添参照）

特に、年末・年始は、休工前の作業の前倒し、年度末に向けた工事の増加などから繁忙期となり、現場内の作業が輻輳するとともに、生活リズムの変化で休み明けに作業員の体調が整わないことなどにより労働災害が発生しやすい状態です。

このため、茨城・栃木・群馬・埼玉労働局では、年末前の12月1日（木）から12月14日（水）までの間、建設工事現場の一斉監督を実施し、年末・年始の建設工事の労働災害防止を図ることとしています。

1 北関東4労働局における建設業の労働災害発生状況（平成28年1～10月）

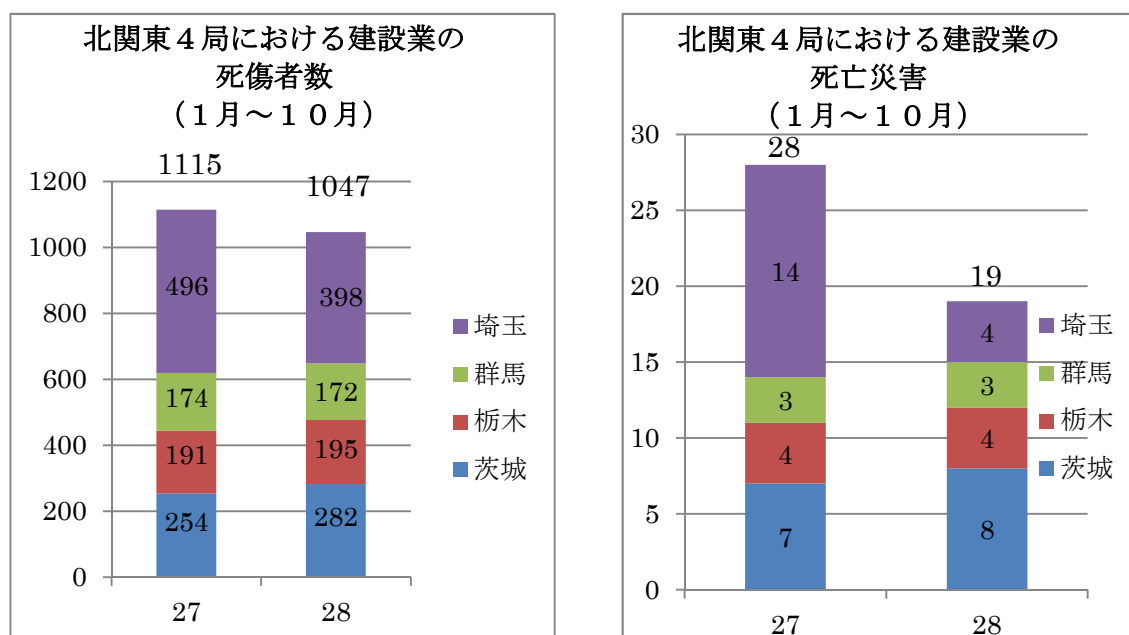
北関東の4労働局管内における建設業に係る平成28年の労働発生状況をみると、労働災害（休業4日以上死傷災害）が前年比6.1%減少、そのうちの死亡災害は前年比32.1%減少となっていますが、これらは、もっぱら埼玉労働局管内の減少によるもので、他の3県での発生状況は、ほとんど前年並みとなっています。（グラフ1）

労働災害発生状況における事故の型別の内訳をみると、墜落・転落災害が33%と最も多く、以下、はさまれ・巻き込まれ災害（11%）、切れ・こすれ（11%）の順で多くなっています。（グラフ2）

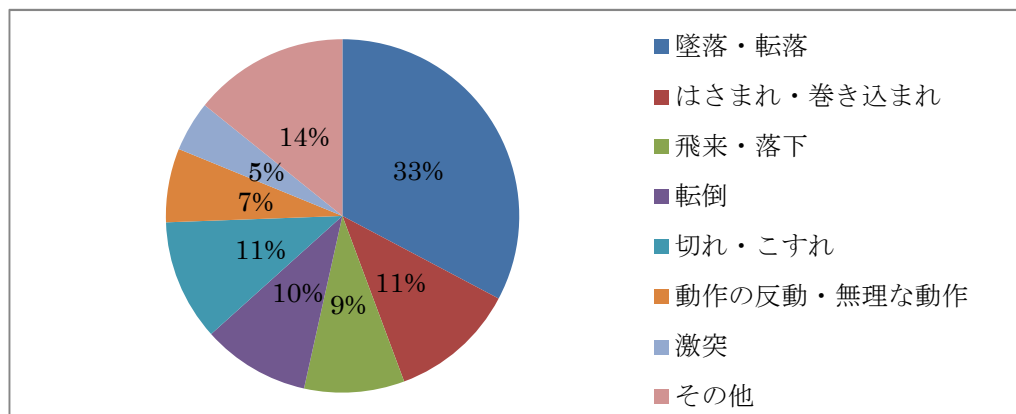
※全国における建設業の労働災害発生状況（平成28年1～10月）

死傷者数 11,204 件（前年比 3.9%減） 死亡者数 220 件（前年比 17.3%減）

グラフ1 北関東4労働局管内における建設業の労働災害発生状況（死傷、死亡）



グラフ2 北関東の4労働局管内における建設業の労働災害発生状況（事故の型別）



2 北関東4労働局合同の年末建設一斉監督

茨城労働局・栃木労働局・群馬労働局・埼玉労働局の4労働局では、合同で、特に繁忙期となる年末・年始の時期における建設工事の労働災害の発生を防止するため、平成28年12月1日から14日までの期間に集中的に建設工事に対する一斉監督を実施します。